

令和4年度 山形県立南陽高等学校 学校評価書 (自己評価・学校関係者評価)

学校教育目標	「自修」: 自ら学ぶ意欲を育て、確かな学力を身につけさせる。 「自律」: 自ら考え、主体的に行動できる力を育てる。 「自助」: たくまいい心身と豊かな人間性を育てる。 「和敬」: 郷土を愛し、社会に貢献する態度を育てる。
めざす生徒像	1 自ら学ぶ意欲を持つ生徒 2 自ら考え、主体的に行動する生徒 3 たくましく、視野の広い生徒 4 郷土を愛し、社会に貢献できる生徒

達成度	A 達成
	B 概ね達成
	C やや不十分
	D 不十分

重点目標	1 主体的な学習を促す授業の充実 2 自主性を育むキャリア教育の構築 3 視野が広く、地域社会に貢献できる人間の育成 4 「いのち」を大切にできる安全指導 5 社会に開かれた教育課程の実現に向けた学校づくり
------	--

自己評価					
重点目標	評価項目	具体的方策と指標・基準等	達成度	目標の達成状況・達成にむけた取組み状況と分析	次年度に向けた課題と対応策
1	① 自己の課題意識にもとづく主体的学習 ② ICT等を活用した達成感のある授業の実現 ③ 個別最適化された学びの充実 ④ 読書指導の充実	① 生徒一人ひとりの学びを大切に学習指導(個別最適化)が行われているか。	B	・「主体的・対話的・深い学びを実現する」という新しい教育課程の中で、様々な取り組みを行った。中でも教員一人一人が授業改善を目指した。今年度は10回以上の研究授業を行い、授業の質の向上に努めた。 ・ICTを活用した授業については、多くの教員が頻繁に取り組んだ。また、多くの生徒が利用している鉄道が運休となった時には、家庭学習となった交通手段のない利用生徒に対して、原則全教科・科目オンラインで授業配信を行った。 ・今年度入学生より観点別評価が導入された。観点別評価の実施・改善を繰り返し、順調に運用している。また、保護者等への周知・理解のため、7月と12月の2回観点別評価に関する資料を1年生の保護者に配付した。	・授業に向かう準備に時間がかかる生徒がいる。「生徒の主体的な学び」につながる根幹と捉え、朝読書の活用なども含めて、落ち着いて主体的に学ぶ雰囲気づくりに組織的に取り組みたい。 ・多様な情報が過剰に飛び交う現代にあって、読書指導はますます重要と言えるにも関わらず、生徒に読書の意義が十分に伝わっているとは言い難い。生徒のニーズに基づく蔵書の構築、図書館行事、広報・展示活動をより工夫していかなければならない。
		② 生徒は目標やねらいを把握して学習しているか。	B		
		③ 授業内容を充実したものにすため、プリントや映像、ICT機器等を活用した授業が進められているか。	B		
		④ わかりやすい授業を目指し、基礎的・基本的事項の定着を図る工夫がなされているか。	B		
		⑤ 各種研修、研究授業、授業アンケート等を通して、授業改善に努めているか。	B		
		⑥ 指導上配慮を要する生徒への個別の学習指導などの対応が考えられているか。	B		
		⑦ 読書指導に力を入れており、生徒の読書習慣につながっているか。	B		
2	① 3年間を見通した系統的な指導 ② 全職員による組織的な指導体制 ③ 体験学習や社会人講話の充実	① 3年間を見通した系統的な進路指導のあり方が整備されているか。	B	・生徒の多様な進路希望に対応するため、今年度も全職員による個別指導体制を充実させ、総合型選抜・学校推薦型選抜・就職試験等に臨ませ、成果を出すことができた。 ・面接と小論文についての職員研修会を行い、全職員の指導力アップにつながった。 ・進路指導部専任による進路相談を随時行った。	・受験指導が合格のためだけでなく、生徒が自らの生き方を考えることの大切さを全職員で共通認識し、年々変化する上級学校の受験に対応できるように学び続ける教師集団を目指す。 ・多様な生徒の実態に対応して、模擬試験や共通テスト受験指導についても、一人一人の生徒の実態と必要性を的確に見極め判断していく。
		② 生徒の類型・コース選択や科目選択は適切か。	B		
		③ 外部講師による講演会を積極的に開催しており、進路意識の高揚につながっているか。	B		
		④ 全職員での指導体制が確立しており、生徒の多様な進路希望の実現に全力を尽くしているか。	A		
3	① 社会的規範意識の確立 ② いじめのない充実した学校生活 ③ 達成感・成長を実感できる部活動	① 本校の生徒指導(挨拶・服装・規範意識など)は適切であるか。	B	・今年度も全職員による組織的なマナーアップ運動・朝の街頭指導を行い、端正な服装や交通安全を呼びかけた。 ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と「学びの保障」教育活動の実施」との両立に苦慮した年度であった。その時々の感染状況を見極めながら、一つ一つ判断・対策を行った結果、爆発的な感染拡大を阻止しつつ、できる教育活動による成果をあげることができた。 ・上記の一例として、インターハイや全国選手権大会にライフル射撃部・男子ソフトボール部・空手道部が出場し、ライフル射撃部は女子団体で入賞した。 ・部活動指導においてはガイドラインを順守し、生徒の心身の健康を第一とした。 ・文化祭等の生徒会主催の行事においては、盛り上げようと頑張る生徒会執行部の要請に全職員が協力を惜しまなかった。	・引き続き部活動ガイドラインを順守し、勝利至上主義に走らず、生徒の成長を目指し主体性を育てる部活動指導を行っていく。 ・部活動の統廃合や任意加入制等の在り方、また全国的な潮流である地域移行についても、よりよい形の模索が必要である。 ・LGBTQに対する理解の促進や寒さ対策のため、制服の改善を検討する。
		② 生徒会活動や部活動が活発であり、生徒が達成感をもてる工夫がなされているか。	B		
		③ 部活動は時間にけじめがあり、原則として週2回の休養日が保障されているか。	B		
		④ 生徒会行事・学校行事(文化祭・講演会等)は充実しているか。	A		
		⑤ 学校全体として生徒理解に努め、問題行動の未然防止・早期発見に努めているか。	B		
4	① 健康教育や安全教育の充実 ② 清掃の徹底と学習環境の美化 ③ 学校災害や交通事故の防止 ④ 教育相談の充実	① 清掃が徹底し、環境美化が図られているか。	B	・冬季間の暖房の故障に関しては、防寒具着用を認めて凌ぐしかなかった。その後スチームの点検修理や運用時間の見直しによって環境整備が改善された。 ・「養護教諭がいてくれる。常に親身になって寄り添ってくれる」という安心感は生徒の心の安定に寄与している。また、養護教諭と学年等関係者との連携も良好で、生徒理解や問題行動の未然防止につながっている。しかしながら、特に年度当初等は養護教諭の他の業務も多く、負担が大きかった。生徒のニーズにできる限り応えたいが、組織的なサポート体制構築も必要である。 ・コロナ禍の中で実施できていなかった校外への避難訓練については、秋季の火災を想定した訓練で、消防署の指導もいただきながら3年ぶりに実施できた。	・従来行ってきた「薬物乱用防止講話」「防犯講話」「保健講話」等を充実させ、いじめや問題行動の未然防止に努める。 ・ホームルーム活動で行った「いじめ防止に向けたクラス討議」をよりよいものとし、生徒同士の自浄作用や親和性の高い集団作りを自ら行えるようにする。
		② 施設・設備の点検・管理及び拡充は日常的に十分なされているか。	B		
		③ 交通安全などの安全指導を外部団体と連携して計画的に行っているか。	B		
		④ 相談活動が充実し、生徒の心身の悩みの解決に向けた支援が行われているか。	A		
		⑤ 事故・事件、災害等に係る安全管理、危機管理が適切に行われているか。	B		
		⑥ 本校は生徒が安心して生活できる雰囲気であるか。	B		
5	① 本校についての広報活動の充実 ② 学校評価の実施と公表 ③ 家庭・地域社会との連携	① ボランティア活動や学校以外での社会体験に参加しやすい環境づくりが行われているか。	B	・昨年同様コロナ禍の中にあって、保護者等の来校の機会が制限され、本校の教育活動とその成果を十分に理解いただくことが難しかった。保護者等アンケートでは「学校の様子がわからない」という声が多く寄せられた。 ・今年度も報道機関より「南陽高校市役所部」の活動を始め、様々な取り組みを取材していただき、好意的な記事を掲載していただいた。	・新型コロナに関する対策が緩和されつつあるので、来年度は保護者等に対して様々な機会に本校の教育活動を公開したい。 ・「総合的な探究の時間」の地域探究学習においては、生徒の成長と職員の負担軽減のため、外部機関との連携を進める。
		② 本校の教育目標やその達成結果が、生徒・保護者にわかりやすく伝わっているか。	C		
		③ 本校は保護者等との交流を密にし、コミュニケーションを大切にしているか。	B		
		④ 「開かれた学校づくり」を進めるために、マスコミやHPを通じた情報発信に努めているか。	B		

学校関係者評価	
意見・要望・評価等	
・3年生の進路の成果が素晴らしい。苦勞も多かったかもしれないが、やりがいもあったのではないだろうか。	
・部活動の大会会場に、記録が出ると全身で喜びを表す南陽高校生がいる。「南陽高校で良かった。」部活動を楽しんでいる。」という姿を見ると嬉しくなる。また、自主的に練習に励む生徒やひたむきさを体現しているような生徒は、一人だけではなく大勢いることだろう。中学校の部活動の地域移行も言われているが、南陽高校もぜひ地域の力を活用して、思い切って、3年先・5年先の部活動のよりよいあり方を先駆的に示してほしい。	
・進路達成やキャリアに関したものでなく、教育は「いろいろ取り組ませて気づかせる」ことの日常的な繰り返しだと思うので、今後とも頑張ってください。	
・南陽市としても、南陽高校には様々な取り組みに協力していただいて感謝している。今年度行われた中高生議会では、多くの中学生が、南陽高校生の姿を見て感銘を受けていた。	
・南陽高校市役所部の活動も3年目となり、現3年生の大きな成長が感じられた。先日の3年生の引退会では、各グループとも3年生が上手くファシリテーターとなって1・2年生をリードしていた。第3期生の2年生も「授業の中では無理なことも市役所部の活動としてできたらいい」という意見をアンケートの中に書いてくれていた。そんな希望を市役所としても後押ししたい。	
・若者の活字離れが危惧されるので、読書や新聞を活用することをご指導いただきたい。SNSは便利で世界も広がるのだけれど、情報の偏りが心配である。ぜひ、総合的な情報にふれる力を身につけてほしい。「新聞の読み方講座」も企画しているので、ご利用いただきたい。	
・南陽高校は非常にいい学校と認識しているので、中学校との連携も強化しながら、ぜひ生徒募集につなげていただきたい。	
・市役所部3年生の活躍や地域活動に熱心に参加する生徒たちを見守る機会が多く、先生方の成長を促すあらゆる取り組みへの御尽力、そして生徒を信じるお気持ちあってこそこのことと感慨深い。これからも、授業・部活動・地域活動を通して自分と向き合い、仲間を作り、郷土を愛することのできる人づくりをしていただきたい。	